

# 1 台の CSM を使用するファイアウォール負荷分散の設定例

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## [はじめに](#)

このドキュメントでは、コンテンツ スイッチング モジュール (CSM) を 1 つしか使用していないにもかかわらず、ファイアウォール ロード バランシング (FWLB) を設定する設定例について説明します。FWLB で、ファイアウォール ファームがロード バランサで囲まれている必要があります。これは、単一のセッションの着信および発信トラフィックが同じファイアウォールにロード バランシングされていることを保証するためです。CSM を使用する場合、両方のロード バランサのジョブを実行するために、同じモジュールを使用できます。このドキュメントでは、その実現方法を説明します。

## [前提条件](#)

### [要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CSM Running バージョン 3.x

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## 設定

ここでは、このドキュメントで説明されている FWLB 用の CSM を設定するための情報を提供します。

注: このドキュメントで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ( [登録ユーザ専用](#) ) を使用してください。

## ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク構成を使用しています。

